

令和6年度使用小学校教科用図書  
に関する調査報告書

教科名 図画工作

(様式1)

## 教科用図書調査に関する報告書

教科	図画工作
----	------

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
開隆堂	9	図工 105 106 305 306 505 506	ずがこうさく1・2上 わくわくするね ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元ごとに、学習指導要領に示されている図画工作の3つの目標達成に向けての取り組みが書かれている。</li> <li>・ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、多くの主体的・対話的な場面や写真、言葉の表記がある。</li> <li>・ 二次元コードが全ての単元に示され、導入、注意事項、用具の使い方等ICT機器を適切に使用できるように工夫されている。</li> <li>・ 他教科との繋がりが示されており、教科横断的な授業実践が行いやすい。</li> <li>・ 学習のめあてが単元ごとに表記されており、児童への意識付けが図りやすい。</li> <li>・ 絵画の題材が多様で、各学年ともに、創造を膨らませやすいものになっている。また、描画方法についても多様なものが用意されており、一人ひとりの作品に工夫が生まれやすい。</li> <li>・ 1年では、幼児教育との繋がりが意識されている。</li> <li>・ ユニバーサルデザインを意識したフォントを使用している。</li> <li>・ 「まなびの資料」が教科書の後半に掲載されており、道具の使い方や安全面に対するの説明も充実している。</li> <li>・ SDGsに関するマークが表記されており、児童への意識付けに配慮されている。</li> <li>・ キャラクターによる説明が児童の学習意欲を高め、親しみやすくわかりやすい。</li> <li>・ 「みんなのギャラリー」では、日本の伝統文化に触れ、他府県の特徴も学べる良さがある。</li> <li>・ 写真の児童がマスクを外していることで、表情が読み取りやすく、楽しんで活動していることがわかる。</li> <li>・ 兵庫県に関する内容が少ない。</li> </ul>

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	図工 107 108 307 308 507 508	ずがこうさく1・2上 まるごと たのしもう ずがこうさく1・2下 まるごと たのしもう 図画工作3・4上 ためす 見つける 図画工作3・4下 ためす 見つける 図画工作5・6上 わたしとひびき合う 図画工作5・6下 わたしとひびき合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示されている図画工作の3つの目標達成に向けての取り組みが、單元ごとに示されている。</li> <li>・多くの主体的・対話的な場面や写真、言葉の表記があり、「主体的・対話的で深い学び」を実現している。</li> <li>・目標・評価・題材・用具・片付け・振り返りが、一連の流れで統一して掲載されており、分かりやすい。</li> <li>・見開きのページの中に作品例が多く、アイデアを膨らませることができやすい。</li> <li>・二次元コードを使って、更に深い学びを実現しようとしている。また、作品を作る時の注意点を抑えながら、実演が多く含まれている。</li> <li>・高学年では、美術館との連携を図っている。また、伝統を学ぶ題材も身近に感じられる工夫がされている。</li> <li>・鉛筆や絵の具の種類の掲載は、中学校美術へ繋がるものになっている。</li> <li>・SDGsに関連する内容についての記載はあるが、あまり強調されていない。</li> <li>・「つながる学び」として、他教科との繋がりは書かれているが、具体的にどう繋げていくかが想像しにくい。</li> <li>・低学年の児童にとって、教科書のフォントは少し小さくて読みにくい。</li> <li>・マスクをつけた児童の写真が多く掲載されているため、児童の表情が伝わりにくい。</li> <li>・兵庫県の内容が、多く取り上げられている。</li> </ul>

(様式2)

## 教科用図書調査に関する報告書

図画工作

観点別評価

「◎」優れている

「○」標準的

「△」やや劣る

選定の観点	選定の視点		開隆堂	日文
学習指導要領との関連	1	学習指導要領に示されている図画工作科の目標達成に結び付く内容になっているか。	◎	◎
	2	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	◎
	3	「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○
	4	言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	○	○
	5	学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、ICT機器や二次元コードから参照できるデジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	◎
	6	SDGs など、今日的課題が取り上げられ、児童が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	◎	○
内容	1	感性や想像力を働かせながら、作り出す喜びを味わうことができる工夫がなされているか。	◎	◎
	2	表現及び鑑賞の活動を通して、「共通事項」を身に付けることができるよう、配慮がなされているか。	◎	◎
	3	互いのよさや個性などを認め尊重しあう活動となるような工夫がなされているか。	◎	◎
	4	創造することの価値に気付き、自分たちの作品や美術作品などに表れている創造性を大切にすることを養うことができる工夫がなされているか。	○	○
	5	個々に特性を生かした活動ができるようにするため、学習活動や表現方法などに幅をもたせる配慮がなされているか。	○	○
	6	必要に応じて、当該学年より前の学年において初歩的な形で取り上げたり、その後の学年で繰り返し取り上げたりすることができる工夫がなされているか。	○	○
	7	事故防止のために、使用する材料や用具、活動場所における安全や衛生面などに配慮した内容となっているか。	◎	◎
構成・分量	1	内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	○	○
	2	児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	◎	○
表記・表現	1	表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	◎	○
	2	文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	◎	○
	3	ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	○	○